

伊達騒動のはじまり〜万治事件

仙台市博物館 学芸企画室 黒田 風花

第1回

今月号から全十二回にわたり、仙台藩を揺るがした大事件「伊達騒動」について連載します。

伊達騒動とは

伊達騒動は、江戸時代前期の仙台藩で起きた約十年にわたる一連の政治事件です。藩主の強制隠居に端を発し、藩政を担う家臣たちの対立を経て、江戸幕府の大老郎における重臣間の刃傷事件という衝撃的な結末を迎えました。



伊達綱宗画像 (伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 仙台市博物館蔵

このように江戸時代の大名家内部の問題が表面化する形で発生した事件は「御家騒動」と呼ばれ、時には幕府から大名家が所領の没収や削減の処分を受けることもあり、藩の存続に関わりました。一方で、世間を騒がせた御家騒動は、後世に歌舞伎や講談などの題材として取り上

い藩主として家臣たちに見切りをつけられた綱宗は、その後、品川（東京都品川区）にある仙台藩下屋敷からの外出を禁じられ、長い隠居生活を送ることとなりました。

綱宗に替わり4代藩主となったのは、当時二歳だった亀千代（後の伊達綱村）です。あわせて、伊達宗勝（伊達政宗の息子、忠宗の弟）・田村宗良（綱宗の兄）が幼少藩主の後見人に任じられ、新たな体制での仙台藩政が始まりました。

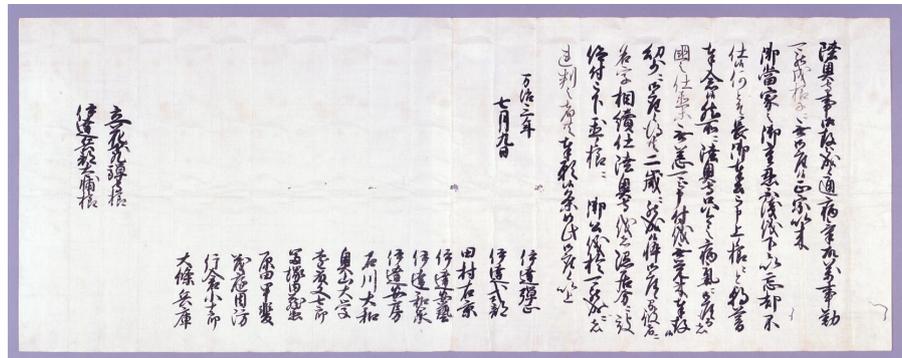
綱宗の強制隠居

今月号では、伊達騒動の発端となった「万治事件」と呼ばれる仙台藩3代藩主・伊達綱宗の強制隠居について紹介します。

伊達綱宗は、寛永十七年（一六四〇）、仙台藩2代藩主・伊達忠宗の六男として生まれました。万治元年（一六五八）に忠宗が死去した後、十九歳の綱宗が3代藩主となりました。しかし、そのわずか二年後に、綱宗は幕府から隠居を命じられます。

実は、綱宗の藩主としてふさわしくない行動がたびたび藩の内外で問題視されてきました。酒色にふける綱宗に、家臣や親戚の大名たち、さらに幕府老中の酒井忠清までもが注意を加えますが、綱宗の行動は改まりません。そこで、藩の行く末を危ぶんだ家臣たちが、幕府に綱宗の隠居願いを提出したのです。

仙台藩主伊達家の存続にふさわしくな



大衆宗頼ほか十三名連署状案 万治三年(1660)七月九日付 仙台市博物館蔵
仙台藩の家臣たちが綱宗の親戚大名に宛てた文書の案文。綱宗を隠居させ亀千代に家督を相続させることを願っている。隠居の理由は「病氣」と記されている。

仙台市史 全32巻

原始から平成元年までの仙台の歴史をわかりやすく紹介！
「通史編」のほか、古代から現代までの歴史資料で構成される「資料編」、特定のテーマを詳しく掘り下げた「特別編」、
「年表・索引」があります。

販売中！

ピックアップ紹介



仙台市史

通史編4 近世2

A5判/オールカラー/603ページ 3,143円(税込)

江戸時代中期の藩政と、仙台城下や村々の様子を収録。伊達騒動については、その発端、刃傷事件から顛末までを、新発見の資料も用いて詳しく紹介しています。



既刊紹介や購入方法は博物館ホームページでご案内しています。

▶博物館ホームページ [仙台市博物館](#) 検索
▶お問い合わせ 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡)
 TEL:022-225-3074 8:30-17:15 ※土・日・祝休日を除く

※当館は現在、大規模改修工事のため休館しています。令和6年4月に再開予定です。